

ひろしま神楽 定期公演 2026 4月1日



本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。

当公演では、全てのお客様に気持ちよく安心して神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 会場内での**飲食は禁止とさせていただきます。**
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様は舞台の前に出られると、演出等で危険な場合がございます。保護者の方は、お子様から目を離さず、着席での鑑賞をお願いします。
- (4) 客席内すべてのお席で写真・動画撮影が撮影可能です。下記および右記のルールを守って撮影してください。(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)
※ビデオカメラなどを使用した**動画撮影やフラッシュ・三脚などを使用したの撮影は禁止**どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影について

以下の禁止事項を遵守し、周囲の方へご迷惑とならないようご配慮の上撮影をお願いいたします。

スマートフォン・携帯電話を使用した動画撮影が可能です。ただし、インターネット・SNS等で合計2分以上公開することは禁止いたします。

禁止事項

- ビデオカメラ・フラッシュ・三脚・一脚を使用したの撮影
- 撮影された画像・動画の**営利目的での使用および2分以上の公開**

#hiroshimakaguraを付けてSNSに写真を投稿しよう！

ひろしま神楽の魅力を発信してください！！

宮乃木神楽団【広島市】

宮乃木神楽団Instagram

平成10年、広島県広島市安佐町飯室の野原八幡神社を御祭神として設立しました。阿須那系八調子を源流とする、梶矢神楽団に師事を受けています。「神楽とは何か？」を考え、儀式舞、儀礼舞、能舞の流れをふまえ、先人たちの築き上げた心意気を学びたいと考えています。今後とも芸を磨き、観る人の心に残る神楽を舞い、また足を運んで頂けるよう日々精進していきたいと思ひます。

神降し かみおろし

大 太 鼓 - 中本 雄己	手 打 鉦 - 山口 莉奈	舞 人 - 田村 和也
小 太 鼓 - 山口 蕉	笛 - 杉 藪 裕也	

新羅三郎(後三年の役) しんらきぶろう ごさんねんのえき

平安時代後期に起こった前九年合戦で、朝廷に反する陸奥の豪族安倍一族を源頼義(みなもとのよりよし)・義家(よしいえ)親子が討ち滅ぼしました。

その際に源氏へ加勢し、安倍氏に取って代わった清原武則(きよはらたけのり)の一族にその後騒動が起こります。武則の孫である真衡(まさひら)、清衡(きよひら)、家衡(いえひら)が兄弟喧嘩をはじめ、この時陸奥守として再び奥州にいた頼義の息子 八幡太郎源義家(はちまんだらう みなもとのよしいえ)が、これを仲裁します。しかし末子家衡は叔父、清原武衡(きよはらたけひら)の勧めで、難攻不落と言われた砦『金沢の柵』に立てこもります。

義家はこれを攻めあぐね、三年の時間が過ぎていきます。

兄の苦戦を知った弟源義光(みなもとのよしみつ)は官職を辞して駆けつけます。その道中、義光を兄と慕う豊原時秋(とよはらときあき)は、後を追ひ参陣の許しを請ひますが、義光は教諭し時秋を帰します。

その後、義光の合力を得た義家は、遂に難攻不落と歌われた『金沢の柵』を、陥落させます。武衡・家衡は最期を迎え、出羽の豪族清原一族は滅亡し、後三年の役と呼ばれる戦乱は終結します。

大 太 鼓 - 中本 雄己	源 義 家 - 半田 徹
小 太 鼓 - 山口 蕉	源 義 光 - 森福 直哉
手 打 鉦 - 山口 莉奈	豊原 時秋 - 松島 優駿
笛 - 杉 藪 裕也	清原 武衡 - 田村 和也
	清原 家衡 - 中村 悠哉

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

助成：一般財団法人地域創造

神楽門前湯治村 定期公演 2025

コラボ企画

お湯よし。宿よし。神楽よし。

その半券捨てないで!!!

「ひろしま神楽定期公演」の半券を神楽門前湯治村に持っていくと

入浴施設・岩戸屋の入浴料¥100割引

神楽門前湯治村で観られる定期公演(大会を除く)の半券を「ひろしま神楽定期公演」に持っていくと

当日券入場料 ¥100割引

※2025年12月31日まで有効

アンケートにご協力ください！

ひろしま神楽定期公演では皆様のご意見やご感想を今後の参考にさせていただくためにアンケートを実施しております。QRコードをスキャンし、アンケートへご回答ください。ご協力よろしくお願い申し上げます。



こちらからご回答ください